

7/13

キャッチフレーズは「三^み地^ちの益作戦」

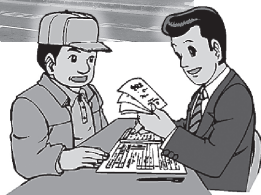
農地なんでも相談会を開催

県農業会議では、昨年から、毎年7月15日を「農地の日」と定めました。これは、農地法が昭和27年7月15日に制定され、昨年で60周年を迎えたことを記念したものです。

この「農地の日」を中心に、県内各市町村の農業委員会では、遊休農地解消に向けた農地巡回など、創意工夫を凝らした多彩な活動を実施しており、本市農業委員会でも、昨年、農地パトロールなどを行いました。26年度はそれに加え、遊休農地解消・農業経営の効率化を進めるため



道の駅にしねで開催します



の農地中間管理機構新設に伴い、『農地なんでも相談会』を「道の駅にしね」で開催します。日時は、7月13日(日)、午前9時から午後3時までです。

市農業委員会では、この相談会のキャッチフレーズを「三^み地^ちの益作戦」と決めました。この「三^み地^ちの益」は、農地中間管理機構の設置目的である「貸^ち地の集約、借^ち地のあっせん、遊休農^ち地の解消」を指していること、これらの3つの農地が農業に「益」をもたらすこと、活動が「道の駅にしね」で開催されることから、名付けたものです。

『農地なんでも相談会』では、農地に関する質問、農業者年金や農業新関に関する相談などを何でも受け付けるほか、農政に関するアンケートを実施し、お答えいただいた人には粗品を贈呈します。

市民の皆さんには、今回の相談会にぜひお立ち寄りいただき、農業に対する関心を深めていただきたいと思います。

詳しくは、市農業委員会事務局(☎・内線1283)まで。

映画がつなぐ40年の交流を記念

「同胞」感謝祭にぜひお越しください

旧松尾村を舞台に撮影され、昭和50年に公開された映画「同胞」。この映画には、当時の松尾村青年会をはじめ、多くの人が撮影に携わりました。

作品を通じ、映画関係者と旧松尾村との交流はこれまで40年間続いています。この交流に感謝し、今後の新たな出会いを広げるため、『「同胞」感謝祭～40年目の出会い～』(同実行委員会主催)を開催します。この機会に作品の世界に触れてみませんか。

■期日 7月20日(日)



20周年を記念し開催された「同胞まつり」(平成7年8月27日)

■場所 松尾コミュニティセンター(入場無料)

■日程(午前9時半開場)

午前10時半～ 40年目の同胞トーク

映画出演者・関係者によるお話
山田洋次監督の講話

正午～ 松尾中学校吹奏楽部の演奏

午後0時40分～ 昼食・休憩(そばなどを販売)

午後1時半～ 倍賞千恵子さん「ふるさとコンサート」=松尾中学校文化祭訪問時に中学校に贈られた曲「約束」、映画主題歌「ふるさと」を会場の皆さんで合唱

午後3時～ 映画「同胞」を上映

■出演予定 山田洋次監督、倍賞千恵子さん、寺尾聰さん、岡本茉莉さん、小六禮次郎さん

■問い合わせ先 同実行委員会事務局・佐々木(☎090-4631-7591、ファクス74-4363、電子メール nobusa@gmail.com、ホームページURL=https://www.facebook.com/eiga.harakara.40th)